

第4回日本伐木チャンピオンシップに 林大生が参戦しました

第4回日本伐木チャンピオンシップ（JLC）が令和4年（2022年）5月21・22日に青森県で開催されました。

JLCは、林業技術及び安全作業意識の向上・林業の社会的地位向上等を目的に開催され、2023年4月にエストニア（予定）で開催される第34回世界伐木チャンピオンシップ（WLC）の日本代表選手（プロフェッショナルクラス3名※¹、レディースクラス1名、ジュニアクラス1名※²）の選考会です。

※1 2022年12月末現在で24歳以上の方が対象

※2 24歳未満の方が対象

予選会：2022年5月21日（土）

決勝大会：2022年5月22日（日）

長野県林業大学校からは、ジュニアクラスに4名、レディースクラスに3名の計7名の選手が参戦しました。また、卒業生からジュニアクラスに2名、プロフェッショナルクラスに1名が参戦し練習の成果を発揮しました。



長野林大JLCメンバー

●競技種目

JLCはWLCに準じて、伐倒、ソーチェン着脱、丸太合わせ輪切り、接地丸太輪切り、枝払いの5種目で競われます。各種目ごとに設定されたポイントの総計で順位が決まります。

主なポイントの**加点**・・・短時間、正確さ、質 など

主なポイントの**減点**・・・安全規則を守らない、木にダメージを与える など

○伐倒競技

競技最高点：660点

5種目の競技の中で最も配点が高く、安全作業を意識しながら正確性が求められます。

自分で定めた標柱にできるだけ接近して倒せるよう、3分以内に木を伐倒します。狙った場所への正確な伐倒技術、伐倒後の退避が重要なポイントです。

予選会では簡易方式、決勝大会ではマストツリー方式で行われました。



山岡選手のマストツリー伐倒



神農選手の伐倒方向の確認



神農選手のマストツリー伐倒



江田選手の簡易伐倒

○ソーチェン着脱競技

競技最高点：約**134**点

ソーチェンを外し、バーの上下を入れ替えて取り付け、別のソーチェンを装着しタイムを計測して採点されます。次の2競技（丸太合せ輪切り競技と接地丸太輪切り競技）の間はチェンの調整ができないため、着脱のスピードだけでなく正確さも求められ、次の2競技でソーチェンやバーカバー、ナットが外れた場合は、この競技の得点は0点になります。予選会では行われず、決勝大会のみ行われました。



神農選手



山岡選手

○丸太合わせ輪切り競技

競技最高点：**200**点

選手は地面から7°に傾いた2本の丸太を垂直に上下から切り出し30-80mmの厚さに輪切りします。切り出す順番は下側から上側と決まっており、赤いラインの中で合わせなくてはなりません。上下の切断面の段差と縦横4方向の垂直さ、スピードで競われます。



藁谷選手



佐々木選手



神農選手

○接地丸太輪切り競技

競技最高点：約**250**点

地面に接地している2本の丸太を上から垂直に30-80mmの厚さに切り出します。丸太が接地面の表面とどこで接しているか分からないように、接地面の上には薄くおが屑で覆われています。チェンソーで接地面にキズを入れると、この競技のポイントは0点になります。採点は、垂直の正確さとスピードで競われます。



江田選手



小酒井選手



野本選手

○枝払い競技

競技最高点：約460点

6mの丸太にまっすぐ差し込まれた30本の枝を切り払います。どの選手も共通のパターンで枝払いを競います。枝払いの跡が5mm以上残ったり、丸太に深さ5mm以上または長さ35cm以上の傷がつくと減点の対象となり、また、チェーンソーのバーが立ち位置にある時に歩いた場合も減点となります。スピードと安全性、正確性が求められる競技です。



小酒井選手



藁谷選手



神農選手

●競技結果

- 予選会では、山岡空選手がジュニアクラス3位、神農千愛選手がレディースクラス2位で決勝大会に進出しました。
- 決勝大会では、山岡空選手がジュニアクラス2位、神農千愛選手がレディースクラス3位となり、山岡空選手は伐倒競技の部門で他のクラスを含めた全選手中最高得点の656点を獲得して伐倒競技部門優勝を果たしました。また、林大の39期卒業生で（有）矢守産業の高山亮介選手がジュニアクラスで総合優勝し、2023年に開催されるWLC日本代表として出場する事となりました。

●決勝大会競技結果

・レディースクラス

順位	ゼッケン No.	選手名	所属先	伐倒	ソーチェン 着脱	合せ丸太 輪切り	接地丸太 輪切り	枝払い	合計
1	29	岡田 望	ウッドホープ株式会社	629	90	139	203	380	1,441
2	5	下久保 喬佳	有限会社下久保林業	588	91	149	113	142	1,083
3	20	神農 千愛	長野県林業大学校（43期生）	499	98	51	86	264	998

・ジュニアクラス

順位	ゼッケン No.	選手名	所属先	伐倒	ソーチェン 着脱	合せ丸太 輪切り	接地丸太 輪切り	枝払い	合計
1	13	高山 亮介	有限会社矢守産業（39期卒業生）	626	126	167	224	382	1,525
2	18	山岡 空	長野県林業大学校（43期生）	656	93	152	188	338	1,427
3	24	落合 海秀	岐阜県立森林文化アカデミー	606	72	141	225	332	1,376

世界大会出場権獲得選手

競技種目 1 位



山岡選手の伐倒競技部門優勝メダル



ジュニアクラス総合優勝の高山亮介選手（右）
伐倒競技部門優勝の山岡空選手（左）

今大会では「我ら林大応援団」や教育連携協定を結んでいるハスクバーナ・ゼノア（株）、保護者の皆様、伐倒チーム等多くの皆様の協力を得て成し遂げられた結果となりました。皆様には大変お世話になりました。